

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結会計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）及び前第1四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については、あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。また、当第1四半期連結会計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年1月1日から平成23年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、有限責任 あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもってあずさ監査法人から名称変更しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,209	11,534
受取手形及び売掛金	192,340	274,379
商品及び製品	73,679	64,178
原材料及び貯蔵品	30,348	31,180
繰延税金資産	15,838	14,622
その他	34,195	30,842
貸倒引当金	△4,451	△5,685
流動資産合計	361,161	421,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	396,025	398,687
減価償却累計額	△227,025	△224,957
建物及び構築物（純額）	168,999	173,729
機械装置及び運搬具	492,937	489,228
減価償却累計額	△362,972	△357,706
機械装置及び運搬具（純額）	129,965	131,522
その他	141,663	141,789
減価償却累計額	△78,633	△79,224
その他（純額）	63,029	62,565
土地	179,647	182,569
建設仮勘定	4,573	6,714
有形固定資産合計	546,214	557,100
無形固定資産		
のれん	84,074	84,172
その他	36,889	37,640
無形固定資産合計	120,963	121,812
投資その他の資産		
投資有価証券	237,266	235,685
繰延税金資産	30,310	30,450
その他	42,539	45,156
貸倒引当金	△5,106	△5,900
投資その他の資産合計	305,009	305,392
固定資産合計	972,187	984,305
資産合計	1,333,348	1,405,358

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,937	102,948
短期借入金	72,221	69,259
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払酒税	82,125	119,338
未払法人税等	576	32,493
預り金	19,769	19,609
コマーシャル・ペーパー	55,000	14,000
賞与引当金	7,365	2,817
その他	103,248	124,406
流動負債合計	428,245	499,874
固定負債		
社債	135,141	135,144
長期借入金	77,905	78,019
退職給付引当金	24,188	24,738
役員退職慰労引当金	219	597
資産除去債務	508	—
繰延税金負債	4,745	4,831
その他	49,536	49,481
固定負債合計	292,246	292,813
負債合計	720,492	792,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,531	182,531
資本剰余金	150,872	150,910
利益剰余金	292,829	295,228
自己株式	△28,577	△28,721
株主資本合計	597,655	599,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	285	198
繰延ヘッジ損益	—	693
為替換算調整勘定	13,899	11,351
評価・換算差額等合計	14,184	12,243
少数株主持分	1,017	478
純資産合計	612,856	612,670
負債純資産合計	1,333,348	1,405,358

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
売上高	284,121	280,223
売上原価	184,472	176,499
売上総利益	99,648	103,723
販売費及び一般管理費	*1 102,106	*1 96,311
営業利益又は営業損失(△)	△2,458	7,412
営業外収益		
受取利息	64	78
受取配当金	160	38
デリバティブ評価益	—	2,384
持分法による投資利益	1,972	1,819
その他	421	440
営業外収益合計	2,619	4,760
営業外費用		
支払利息	1,104	921
その他	*2 938	*2 700
営業外費用合計	2,043	1,621
経常利益又は経常損失(△)	△1,881	10,552
特別利益		
固定資産売却益	625	74
投資有価証券売却益	7	—
関係会社株式売却益	—	2,629
貸倒引当金戻入額	1,534	1,252
持分変動利益	726	—
特別利益合計	2,893	3,956
特別損失		
固定資産除売却損	523	58
投資有価証券売却損	5	—
投資有価証券評価損	187	847
震災関連費用	—	*3 6,927
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	460
その他	—	358
特別損失合計	715	8,652
税金等調整前四半期純利益	296	5,856
法人税等	*4 821	*4 2,561
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,294
少数株主損失(△)	△529	△340
四半期純利益	4	3,635

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	296	5,856
減価償却費	14,787	14,795
のれん償却額	1,622	1,340
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△265	686
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,654	△1,224
受取利息及び受取配当金	△225	△116
支払利息	1,104	921
持分法による投資損益 (△は益)	△1,972	△1,819
投資有価証券評価損益 (△は益)	187	847
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△2,629
固定資産除売却損益 (△は益)	△101	△15
売上債権の増減額 (△は増加)	78,217	79,500
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,802	△10,278
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,860	△27,476
未払酒税の増減額 (△は減少)	△46,343	△37,214
その他	△14,002	△17,414
小計	1,985	5,758
利息及び配当金の受取額	4,595	105
利息の支払額	△650	△645
法人税等の支払額	△24,255	△36,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	△18,325	△31,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,352	△5,696
無形固定資産の取得による支出	△1,476	△797
投資有価証券の取得による支出	△3,669	△318
貸付けによる支出	△577	△213
貸付金の回収による収入	940	318
その他	△40	△534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,176	△7,242
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	34,945	52,298
リース債務の返済による支出	△581	△1,068
長期借入れによる収入	137	—
長期借入金の返済による支出	△2,120	△128
自己株式の取得による支出	△6	△2
配当金の支払額	△5,115	△5,817
その他	985	999
財務活動によるキャッシュ・フロー	28,245	46,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	142	88

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,114	7,773
現金及び現金同等物の期首残高	18,082	10,813
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	2	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 16,970	※ 18,587

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>当第1四半期連結会計期間から、㈱エルビー（名古屋）は連結子会社との合併のため、また、ヘテ飲料㈱は平成23年1月11日付でLG Household & Health Care Ltd.へ株式を譲渡したため連結の範囲から除外しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 49社</p>
2. 持分法の適用に関する事項の変更	<p>(1) 持分法適用関連会社の変更</p> <p>当第1四半期連結会計期間から、Yeastock株式会社は重要性が増したため、また、康師傅飲品控股有限公司が関係会社10社を新たに設立したため、持分法適用関連会社の範囲に含めております。</p> <p>(2) 変更後の持分法適用会社数 非連結子会社1社、関連会社51社</p>
3. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用</p> <p>当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>(2) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用</p> <p>当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ12百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は473百万円減少しております。</p>

【表示方法の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
(四半期連結損益計算書関係)	
<p>「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>	

【簡便な会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
3. 棚卸資産の評価方法	当社及び一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	
税金費用の計算	税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)																								
偶発債務 保証債務 銀行借入に対する保証債務等	偶発債務 1 保証債務 銀行借入に対する保証債務等																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>被保証者</th> <th>保証金額 (百万円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員</td> <td>243</td> <td>銀行借入</td> </tr> <tr> <td>その他3件</td> <td>388</td> <td>銀行借入等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>631</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	被保証者	保証金額 (百万円)	摘要	従業員	243	銀行借入	その他3件	388	銀行借入等	合計	631		<table border="1"> <thead> <tr> <th>被保証者</th> <th>保証金額 (百万円)</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>従業員</td> <td>271</td> <td>銀行借入</td> </tr> <tr> <td>その他3件</td> <td>378</td> <td>銀行借入等</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>650</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	被保証者	保証金額 (百万円)	摘要	従業員	271	銀行借入	その他3件	378	銀行借入等	合計	650	
被保証者	保証金額 (百万円)	摘要																							
従業員	243	銀行借入																							
その他3件	388	銀行借入等																							
合計	631																								
被保証者	保証金額 (百万円)	摘要																							
従業員	271	銀行借入																							
その他3件	378	銀行借入等																							
合計	650																								
	2 割引手形 87 百万円																								

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
※1	販売費及び一般管理費の内訳 販売奨励金及び手数料 32,497 百万円 広告宣伝費 13,757 " 運搬費 8,078 " 従業員給与・手当・賞与 16,555 " 退職給付費用 1,545 " 減価償却費 3,359 " のれん償却費 1,516 "	販売費及び一般管理費の内訳 販売奨励金及び手数料 34,133 百万円 広告宣伝費 8,861 " 運搬費 8,248 " 従業員給与・手当・賞与 16,248 " 退職給付費用 1,715 " 減価償却費 3,449 " のれん償却費 1,234 "
※2	営業外費用その他の中に、持分法適用関連会社の持株会社で発生しているのれん償却額106百万円が含まれております。	同左
※3	—————	平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う費用について、現時点で認識されている費用を計上しております。
※4	法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。	同左
5	季節要因による影響について 当社グループの業績は、主要な事業である酒類、飲料事業の需要が特に夏季に集中するため、季節変動があります。特に第1四半期は、需要が通期で最も少ない時期であります。	季節要因による影響について 当社グループの業績は、主要な事業である国内酒類、国内飲料事業の需要が特に夏季に集中するため、季節変動があります。特に第1四半期連結累計期間は、需要が通期で最も少ない時期であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)
※	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 18,537百万円 預金期間が3ヶ月超の定期預金 <u>△1,567 "</u> 現金及び現金同等物 <u>16,970百万円</u>	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金 19,209百万円 預金期間が3ヶ月超の定期預金 <u>△622 "</u> 現金及び現金同等物 <u>18,587百万円</u>

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成23年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年3月31日)
普通株式(株)	483,585,862

2. 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年3月31日)
普通株式(株)	18,128,888

3. 新株予約権の四半期連結会計期間末残高等

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年3月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	5,817	12.50	平成22年12月31日	平成23年3月28日

(2) 基準日が当第1四半期連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

摘要							
	酒類 (百万円)	飲料 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	168,702	79,801	21,290	14,326	284,121	—	284,121
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,378	160	417	11,052	14,008	(14,008)	—
計	171,081	79,961	21,708	25,378	298,129	(14,008)	284,121
営業費用	170,844	82,718	21,620	25,887	301,071	(14,492)	286,579
営業利益又は営業損失(△)	236	△2,756	87	△509	△2,941	483	△2,458

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品 (1)酒 類……………ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他

(2)飲 料……………清涼飲料他

(3)食 品……………食品事業、薬品事業

(4)そ の 他……………不動産事業、外食事業、卸事業、物流事業他

3. 当第1四半期連結累計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

4. 当第1四半期連結会計期間より、従来の「食品・薬品」について「食品」へ名称を変更いたしました。
なお、当該変更は、名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメントの情報を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が経営資源の配分の決定等のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内においては、主に酒類、飲料、食品の製造・販売を行っており、また、海外においては主に酒類、飲料の製造・販売を行っております。

したがって当社グループは「国内酒類」、「国内飲料」、「国内食品」、「国際酒類飲料等」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品及びサービスの種類は以下のとおりです。

「国内酒類」・・・ビール、発泡酒、焼酎、ウイスキー他酒類製品の製造・販売

「国内飲料」・・・清涼飲料他の製造・販売

「国内食品」・・・食品、薬品の製造・販売

「国際酒類飲料等」・・・ビール他酒類製品、清涼飲料の製造・販売他

「その他」・・・外食事業、卸事業、物流事業他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	国内酒類	国内飲料	国内食品	国際酒類飲料等	その他	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高							
外部顧客への売上高	162,656	60,896	23,052	20,675	12,942	—	280,223
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,320	805	543	2	11,337	△20,010	—
計	169,977	61,702	23,596	20,677	24,279	△20,010	280,223
セグメント利益又は損失(△)	8,767	△1,463	1,113	△601	△363	△39	7,412

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△39百万円には、主として、棚卸資産及び固定資産の未実現利益の調整額等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成23年3月31日)	前連結会計年度末 (平成22年12月31日)
1株当たり純資産額 1,314.49円	1株当たり純資産額 1,315.51円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
1株当たり四半期純利益 0.01円	1株当たり四半期純利益 7.81円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 0.01円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 7.81円

(注) 1. 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	4	3,635
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	4	3,635
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	465,117	465,422
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に 用いられた四半期純利益調整額の主要な内訳(百 万円)	—	—
四半期純利益調整額(百万円)	—	—
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に 用いられた普通株式増加数(千株)	534	287
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益の算定に含まなかった潜在 株式について前連結会計年度末から重要な変動が ある場合の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。